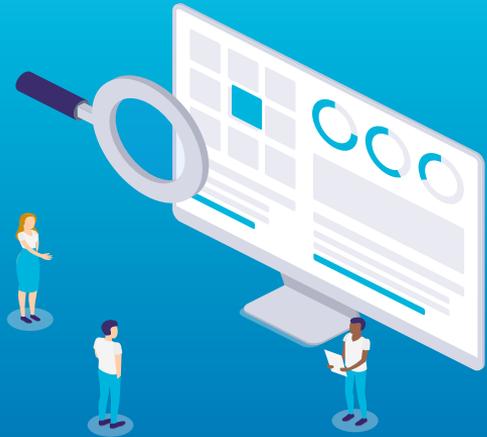


# 事業計画及び成長可能性に 関する説明資料

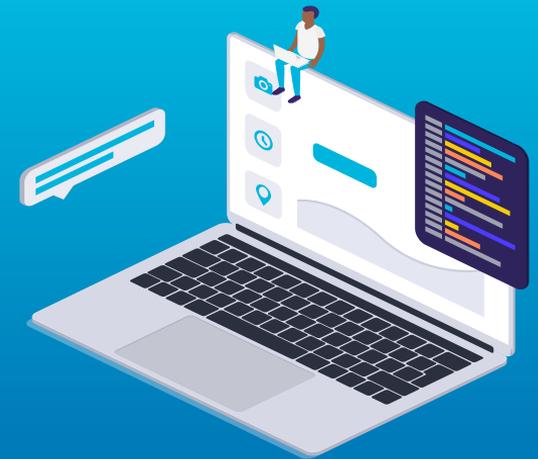
2021年12月15日



# 目次

- 1. 会社概要・ビジネスモデル P.3
- 2. 市場環境 P.15
- 3. 競争力の源泉（特徴と強み） P.21
- 4. 事業計画（成長戦略） P.26
- 5. リスク情報 P.40

# 会社概要・ビジネスモデル



## 「品質向上のトータルサポート企業」を経営方針に掲げ、事業を展開

会 社 名	バルテス株式会社
会 社 設 立	2004年4月
上 場 場	2019年5月（東証マザーズ 証券コード：4442）
本 社 住 所	大阪市西区阿波座1-3-15（大阪本社）
事 業 内 容	ソフトウェアテストサービス 品質コンサルティングサービス ソフトウェア品質教育サービス セキュリティ・脆弱性診断サービス
子 会 社	バルテス・モバイルテクノロジー株式会社 株式会社アール・エス・アール VALTES Advanced Technology, Inc. (Philippines)
従 業 員 数	716名（2021年9月末 グループ4社計）
内、総エンジニア数	628名（2021年9月末 グループ4社計）
総 資 産	2,529百万円（2021年9月末 グループ4社連結）



代表取締役社長

**田 中 真 史**  
 Tanaka Shinji

## 社名の由来

---

**Value created through Testing** 

「テストを通じて価値を創造する会社」という意味が込められています。

## グループスローガン

---

**VALTES**

FOR QUALITY CONFIDENCE

VALTES for Quality Confidence に込めた想い

「お客様の品質に対する自信を揺るぎないものにしたい」  
技術を磨き続け、品質向上に貢献し、より良い製品で社会を豊かにする。  
バルテスグループは、ソフトウェア品質のさらなる高みを目指し続けます。



私たちは品質にコミットし、安心・安全なICT社会の実現に貢献します。



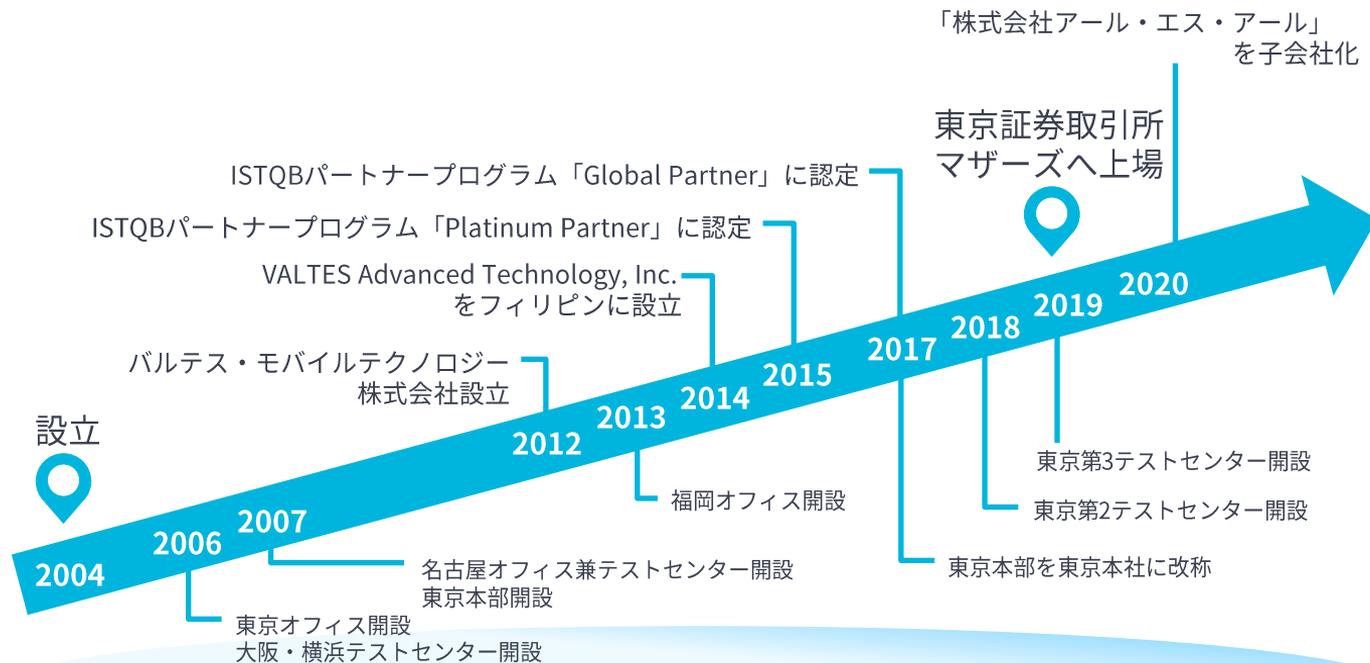
私たちはICT社会に貢献する人材を育成します。



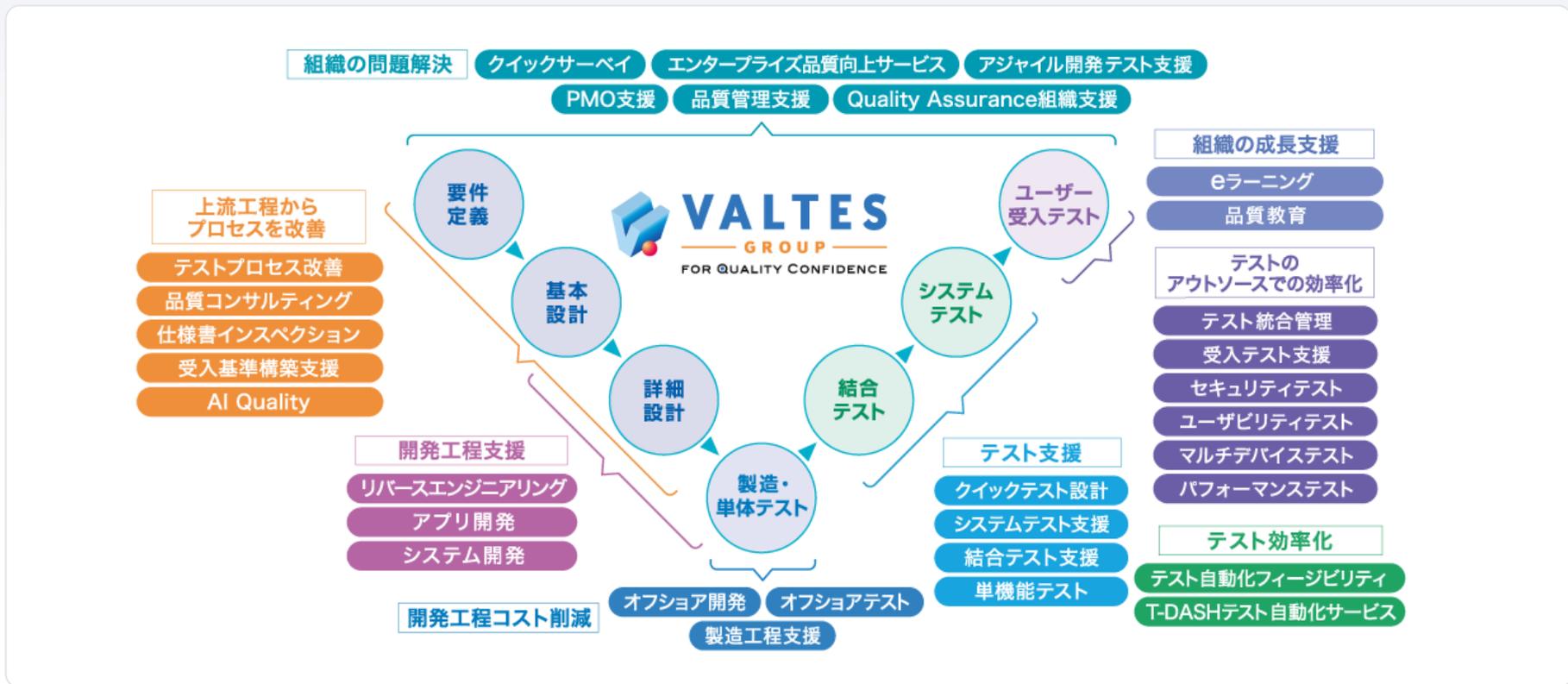
私たちは多くの価値を創り、お客様と共に喜びを分かち合います。

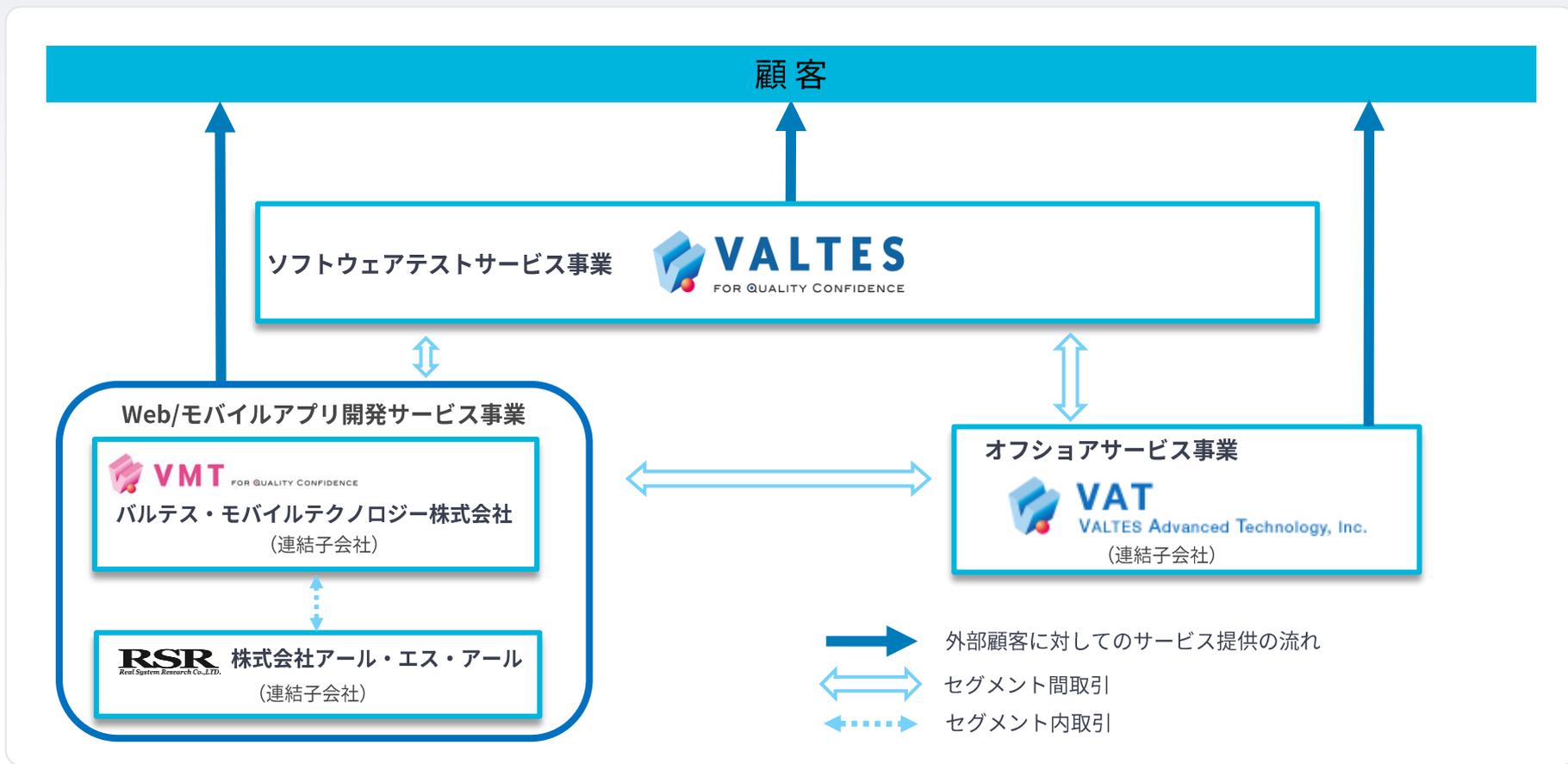
2004年4月、設立。ソフトウェアの品質に関わるサービスを提供。

ソフトウェアテスト専門会社として、**年間2,100件以上**のプロジェクト実績を誇る

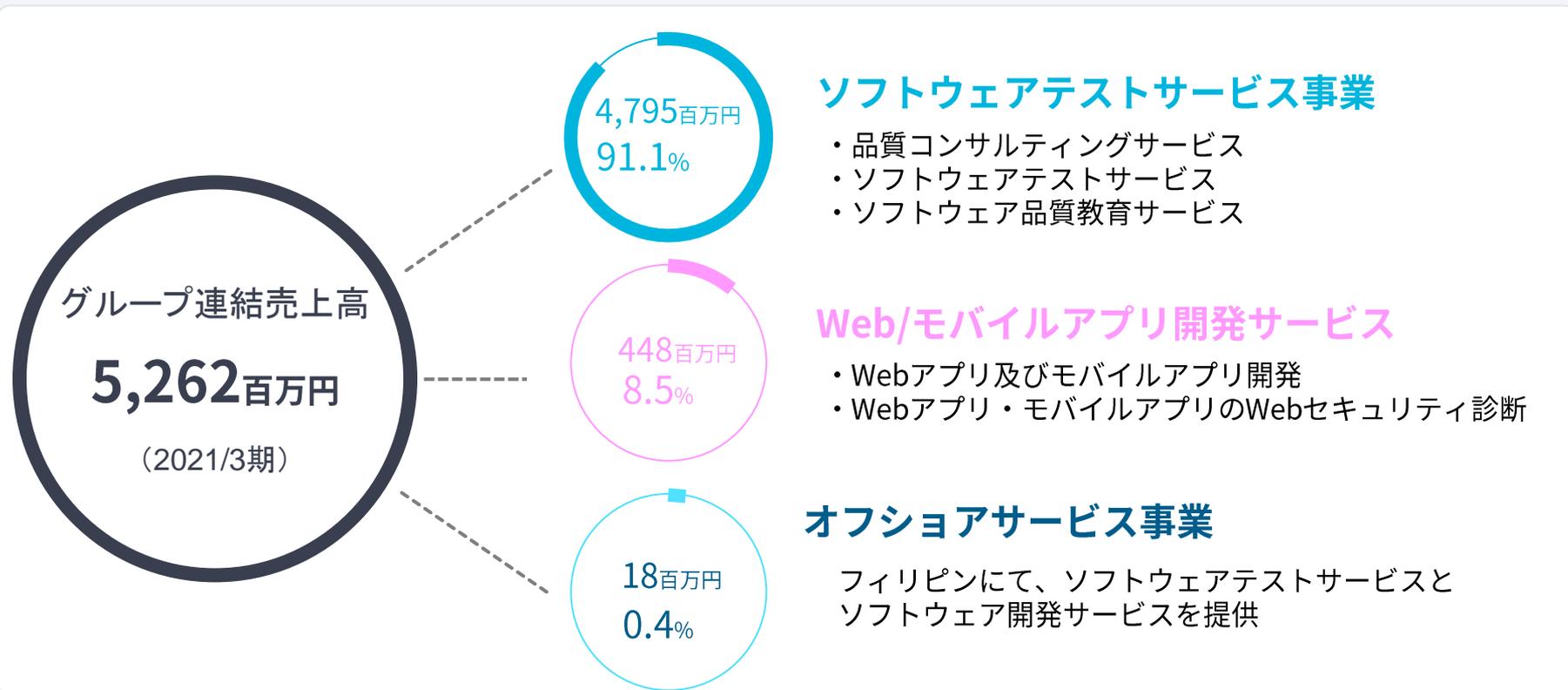


# ソフトウェア開発の全工程で、ソフトウェア品質の向上支援サービスを提供

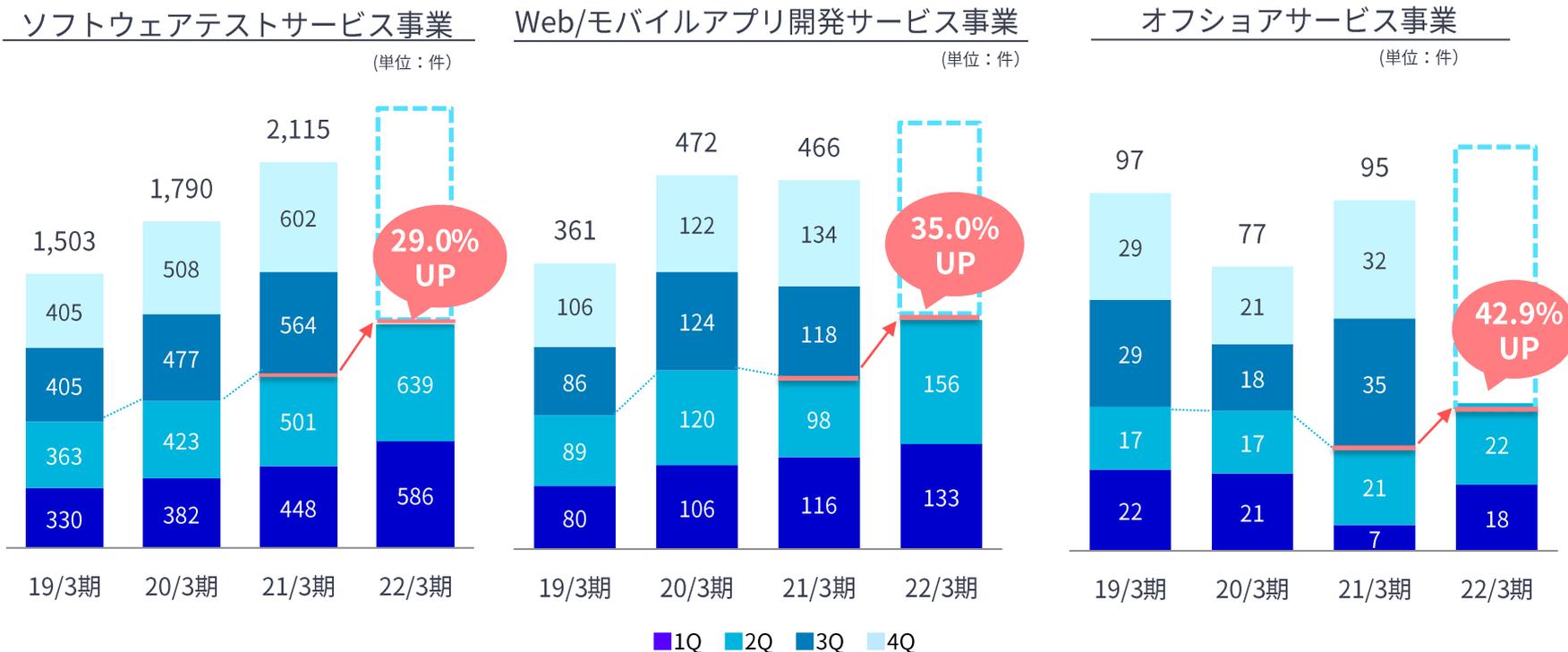




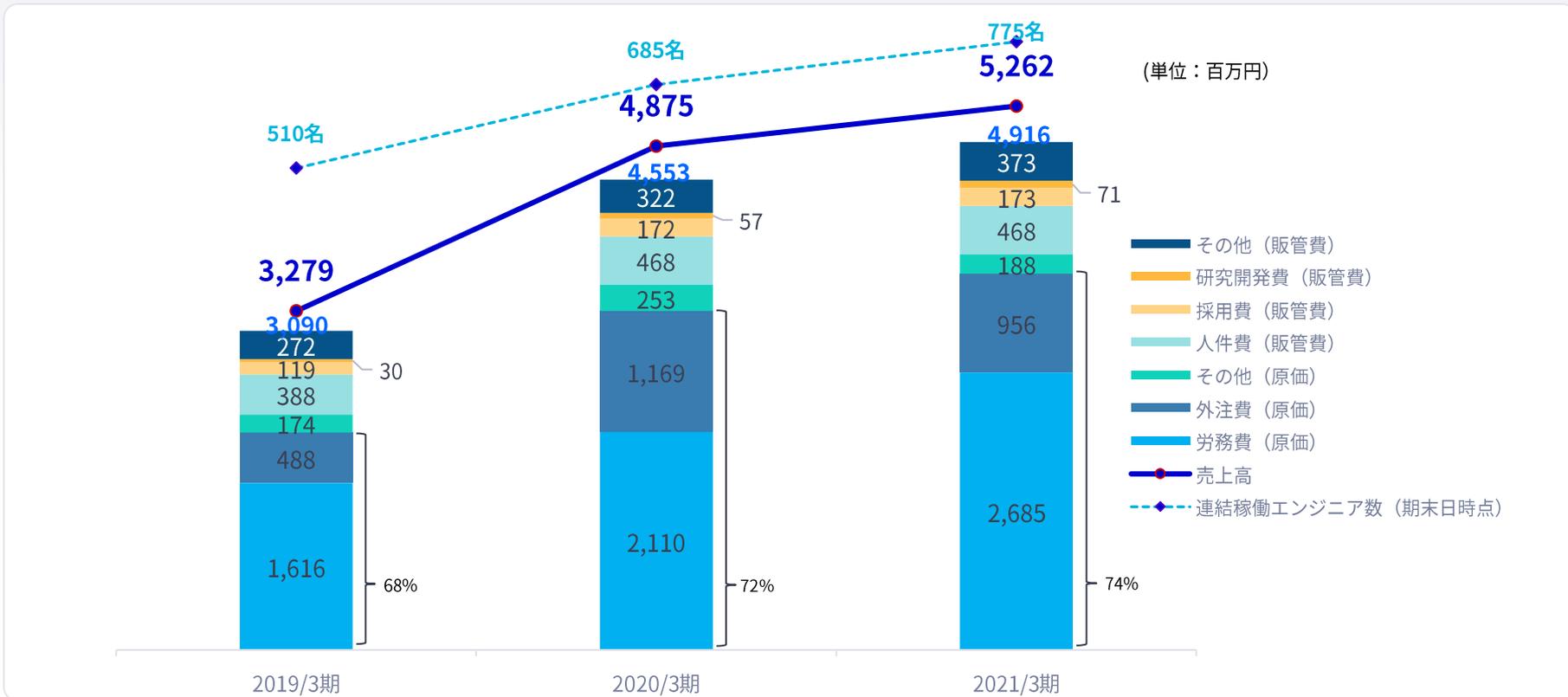
ソフトウェアテストサービス事業が9割以上を占める一方、近年、モバイル端末の技術の発展もあり、Web/モバイルアプリ開発サービス、更に、オフショアサービス事業も展開



## ソフトウェアテストサービス事業を中心に、**3セグメント**とも前年同期比で増加中



全体の費用に対し、エンジニアに関わる労務費（原価）及び外注費（原価）の占める割合が大きいですが、売上高も堅調に推移し営業利益も増加



**第三者の中立な立場**から、様々な業界にソフトウェアのテスト・品質に関わるサービスを提供。  
開発工程における品質コンサルティングや品質教育、セキュリティ診断といった幅広いサービスも提供

## 5つの主要サービス

### 1 ソフトウェアテストサービス

- 単機能テスト、システムテスト支援、多端末テスト、テスト自動化、受入テスト支援など、様々なソフトウェアのテストサービスを提供

### 2 品質コンサルティングサービス

- ソフトウェア開発工程の上流工程を含む全体における品質確保のプロセス確立・標準化

### 3 ソフトウェア品質セミナーサービス

- 開発者、品質担当者、プロジェクトリーダー、プロジェクトマネージャーなどを対象に、品質向上を目的とした体系的な教育をセミナー形式で提供

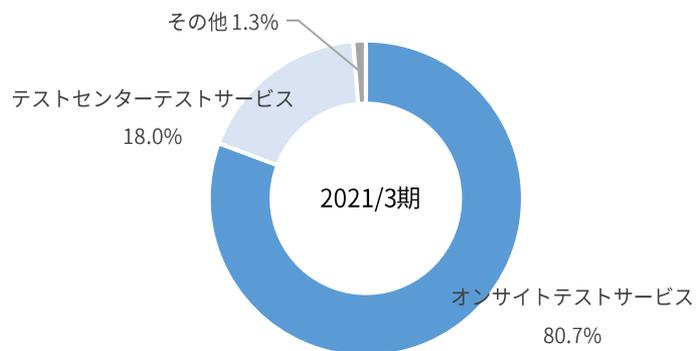
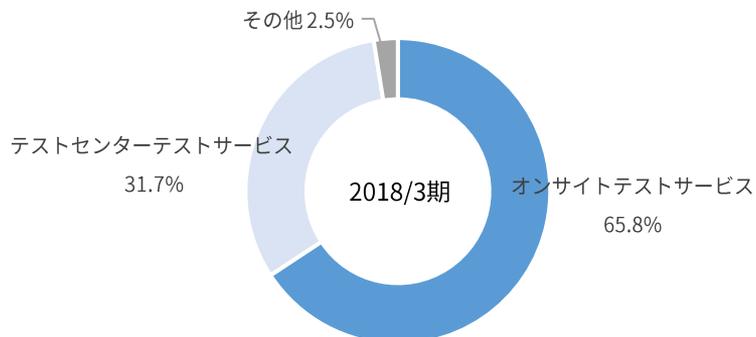
### 4 セキュリティ・脆弱性診断サービス

- Webシステムやモバイルアプリケーション、IoT機器を対象にハッキング等の脆弱性を確認する診断サービス

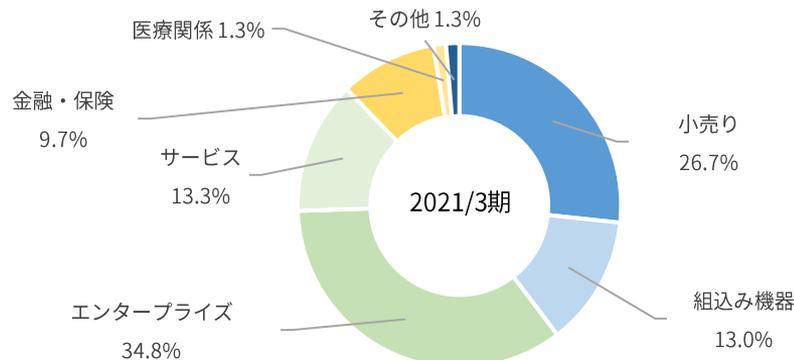
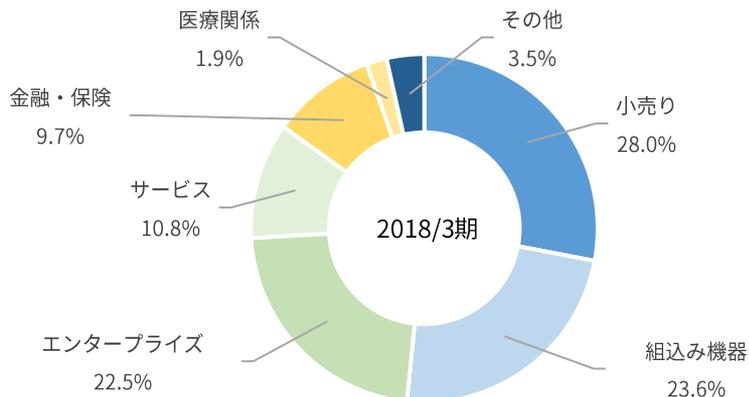
### 5 その他のサービス

- デジタル放送テストサービス
- リバースエンジニアリングサービス
- 出版・情報発信・サイト運営

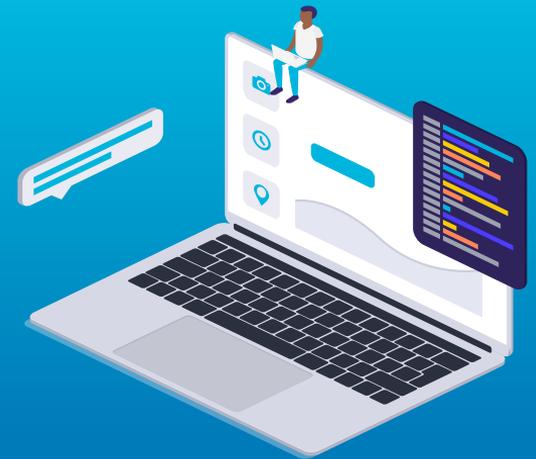
## サービス提供形態



## 顧客業種別売上高構成比

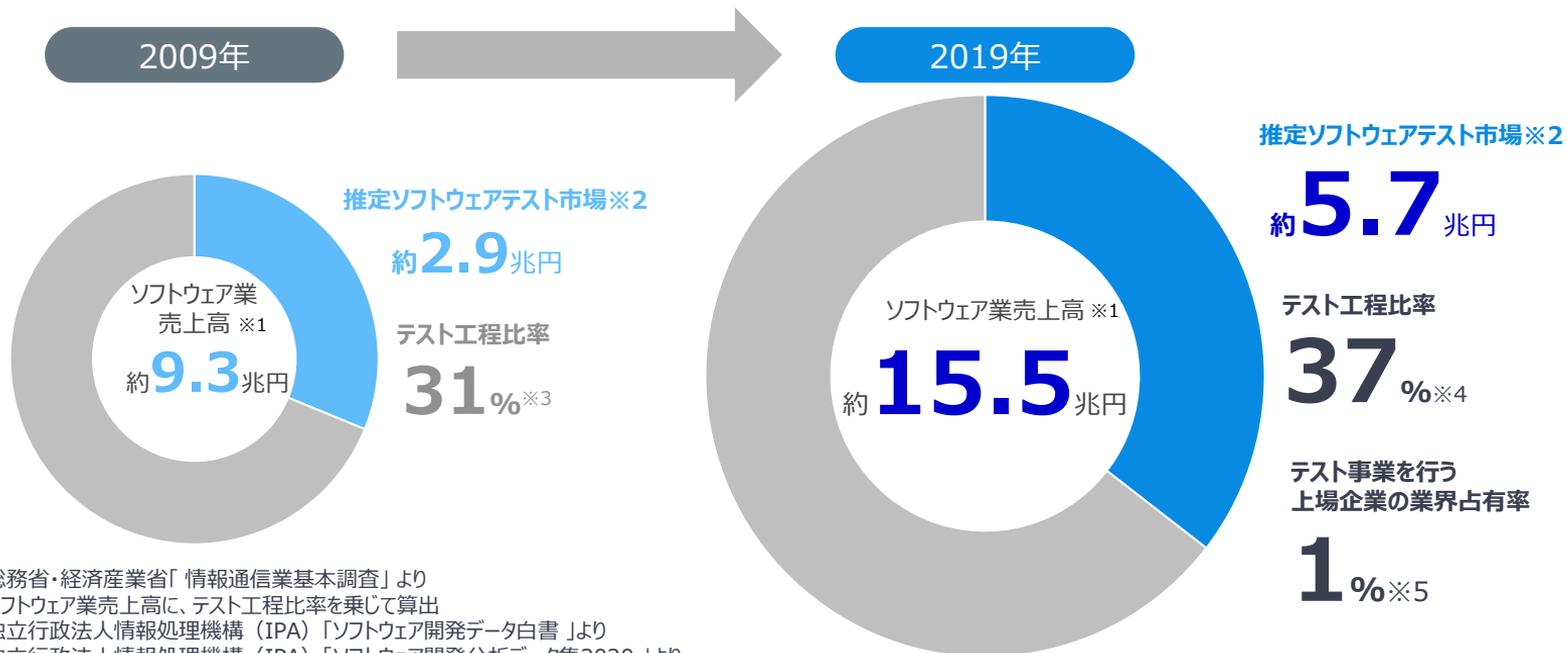


# 市場環境



## 当社が推定する日本のソフトウェアテストの市場規模は**約5.7兆円**

### ソフトウェア業売上高に占めるテスト工程比率の推移と市場規模推計



- ※1 総務省・経済産業省「情報通信業基本調査」より
- ※2 ソフトウェア業売上高に、テスト工程比率を乗じて算出
- ※3 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発データ白書」より
- ※4 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発分析データ集2020」より
- ※5 テスト・デバック事業をメインとする上場企業の売上合計より

## ソフトウェア開発企業の悩み

- ・コスト高な開発エンジニアの労働時間の約4割がテスト・検証に割かれる
- ・テスト・検証は開発者のモチベーションが上がらない為、非効率
- ・開発者自身がテスト・検証を行うのは客観性が無く信頼性に欠ける

## テスト工程がアウトソースされなかった理由

- ・大手SIerが案件を一括受注し、傘下の下請け・孫請けに発注。  
その開発エンジニアがテスト工程まで行う構造で

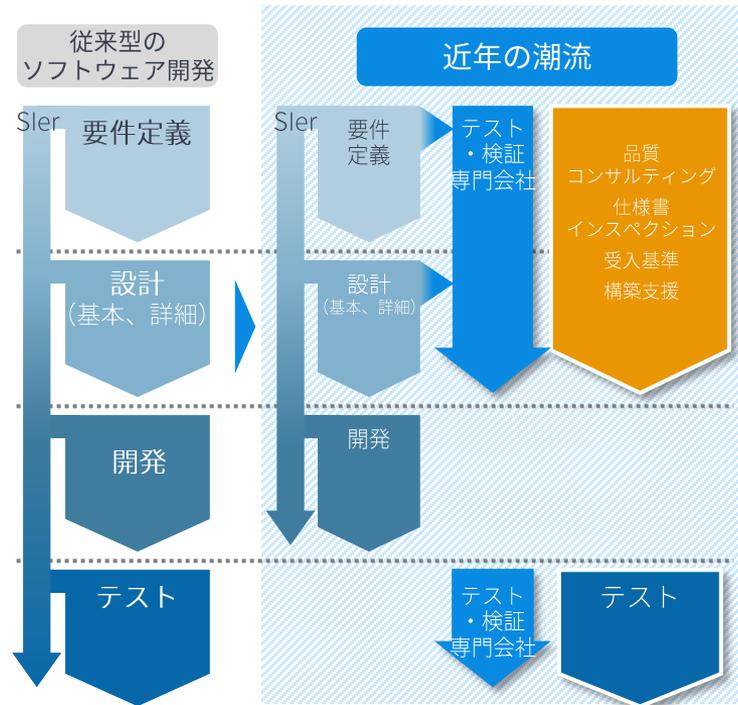


## テスト工程のアウトソース化が加速！

- ・開発担当者によるテスト時間の短縮により、開発コストが減少  
(開発担当者がテストを実施する場合の※**60%~70%程度**で対応が可能)  
※当社調べ
- ・再現性・共有性の高いテストの方法論が確立 (各社独自のメソッド)  
することで**網羅的で高効率**なテストが実現可能に
- ・第三者のテスト専門会社によるテスト・検証の有効性が注目

## ソフトウェアテストは 開発企業から**テスト専門企業**へ

### ソフトウェア開発の業務フローの変遷



ターゲットはエンタープライズ、組込み、Web・スマホ領域  
 特に**エンタープライズ領域**に注力中

周辺市場のテスト工程における比較表

 当社の事業領域

		潜在市場規模	市場ステージ	参入障壁
テスト 工程 市場	エンタープライズ系	巨大	黎明期	高い
	組込み系	大	黎明期	高い
	Web・スマホ系	中	成長期	中
	エンターテインメント系	小	成熟期	低い

## ターゲット業界の高いCAGR、ソフトウェアテスト市場も**12.4%のCAGR(年平均成長率)**

	市場規模			CAGR	出所
	国内	2024年	12.8兆円		
<b>エンタープライズIT</b>	国内	2024年	12.8兆円	3.4%	IDC Japan 国内エンタープライズIT市場予測
<b>AI</b>	国内	2025年	4,910億円	25.5%	IDC Japan 国内AIシステム市場予測
<b>Web/eCommerce</b>	世界	2024年	4.9兆ドル	20.7%	出所：eMarketer, Dec2016 経済産業省「平成29年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備」（電子商取引に関する市場調査） 世界のBtoC電子商取引市場規模の推移
<b>IoT</b>	国内	2025年	10.2兆円	10.1%	IDC Japan 国内IoT市場支出額予測
<b>スマート自動車/自動運転</b>	国内	2025年	1.9兆円	19.5%	矢野経済研究所 国内コネクテッドカー関連市場規模推移と予測
<b>スマート家電</b>	世界	2024年	316.6億ドル	16.0%	Technavio Smart Home Appliances Market by Product, Distribution Channel, and Geography - Forecast and Analysis 2020-2024
その他、国内外のソフトウェアテストが関係する業界の市場規模を合わせ、世界全体での可能性					
<b>ソフトウェアテスト</b>	世界	2025年	344.9億ドル	12.4%	Technavio Software Testing Services Market by Product, Geography, and End-user - Forecast and Analysis 2021-2025

## 「デジタル庁の創設」や「コロナ禍で進んだ社会の変化」により、DXが加速

### コロナ禍で進んだ社会の変化

- テレワークの定着
- EC消費の定着
- オンラインコミュニケーションの定着
- 余暇時間の増加

### デジタル庁の創設

- 国・自治体のシステムの統一
- 行政のオンライン化
- 品質意識の向上(コロナ禍での不具合続出)

### デジタルトランスフォーメーション (DX) 加速

2.セキュリティリスク増

セキュリティサービス  
需要の増加

1.ソフトウェア開発

エンタープライズ領域の  
ソフトウェアテスト  
需要の増加

3.人材不足

人材不足を解消する  
手立てがカギ

# 競争力の源泉 (特徴と強み)



## 高スキル エンジニア

- ▶ エンジニア適正試験
  - ▶ 独自の研修カリキュラムによる早期戦力化
  - ▶ JSTQB※1保有率 92%以上！ (入社2年目以降の正社員)
  - ▶ ISTQB※2 Global Partner
- ※全世界10社のみ、**日本初!**

## 豊富な実績

- ▶ 年間2,100プロジェクト、600社以上の導入実績
- ▶ 業種毎の豊富なテスト観点

## 標準化・ プロセス

- ▶ IEEE※3829※4準拠テンプレート
- ▶ QUINTEE※5 (テストの進行基準)
- ▶ 標準化されたテスト設計手法による  
抜け漏れ・誤認識を排除

新卒



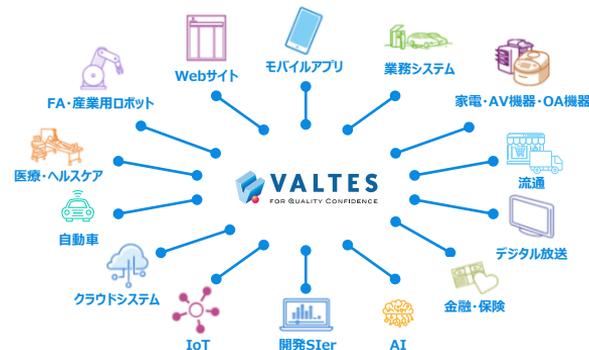
未経験者



キャリア



日本で初のグローバルパートナー



※1: JSTQB(Japan Software Testing Qualifications Board)とは、国内のソフトウェアテスト技術者認定組織のこと

※2: ISTQB(International Software Testing Qualifications Board)とは、世界130カ国のテスト技術者認定組織のこと

※3: IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) とは、米国に本部を置く、電気・情報工学分野の学術研究団体、学会、技術標準化機関のこと

※4: IEEE829とは、テスト工程で作成するドキュメントの定義のこと

※5: QUINTEEとは、当社がソフトウェアテストを主軸に、品質向上・生産性向上に関連する知見を体系化したもの

## 重点領域である**エンタープライズ領域**が堅調に成長

### 市場環境

#### デジタルトランスフォーメーション (DX) 進展



- ①長期使用による基幹システムの老朽化
- ②大容量高速通信時代の到来

マイグレーション※の負担増→コスト懸念・品質懸念

### ソフトウェアテスト依頼の増加へ

※ソフトウェアやハードウェア、システム、データ、開発言語などを別のプラットフォームに移行したり、新しいシステムに切り替えたりすること

### 特徴

- 単価 **高** 案件規模 **大** 契約期間 **長**
- テスト以外の知識(開発、業務知識)を求められる  
→難易度 **高**

エンタープライズ専門部署を  
2020年4月から設立、組織拡大中



### 当社の優位性

- 経験豊富な**ハイレイヤーの採用** 
- 本領域に強い人材を供給可能な**外部協力会社との取引拡大** 
- 長年蓄積された質、量ともに豊富な**当社のテストノウハウ** 
- テストノウハウをプログラム化した体系的・実践的な研修を**全員が受講** 
- 上流工程**からの品質支援ニーズに対応

## &lt;市場環境&gt;


 最大で**約79万人**のIT人材不足

IT需要が今後拡大する一方で、我が国の労働人口（特に若年人口）は減少が見込まれ、IT人材の需要と供給の差（需給ギャップ）は、2030年には、最大で**約79万人**に拡大する可能性



各企業ますますテストの  
**アウトソース化**の流れへ

新卒  
 未経験者



キャリア



オンライン  
 教育体制



充実した社内研修システムによる**早期の安定稼働に**  
 オンライン研修で**採用数増、高スキル人材の輩出を実現**

320時間

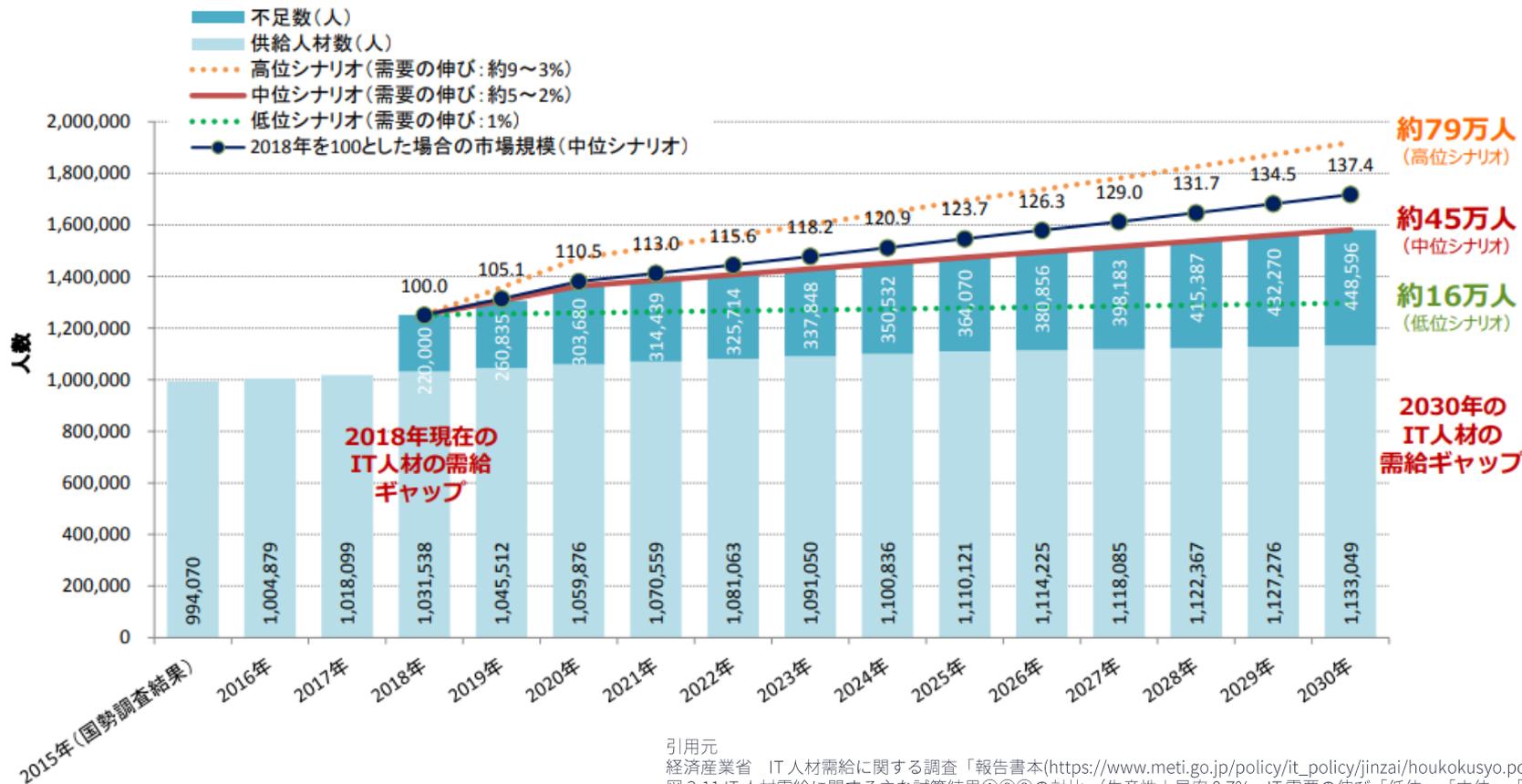
160時間

未経験者でも短期間で  
 高スキルエンジニアへ  
 育成出来ることが当社の強み

正社員エンジニア採用数

80名 ⇒ 134名 ⇒ 136名 ⇒ 91名  
 (19/3期) (20/3期) (21/3期) (22/3期2Q時点)  
 上場前 上場後

# (参考) 今後のIT人材の不足予測に関して

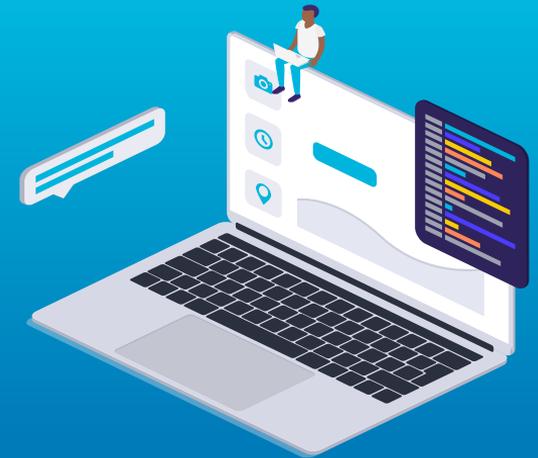


引用元

経済産業省 IT人材需給に関する調査「報告書本」([https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/jinzai/houkokusyo.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/houkokusyo.pdf))

図3-11 IT人材需給に関する主な試算結果①②③の対比 (生産性上昇率0.7% IT需要の伸び「低位」「中位」「高位」)

# 事業計画 (成長戦略)



## ソフトウェアテスト市場の高い成長

優秀な人材の確保と  
研修・戦力化



正社員

エンジニア採用数

**91**名

(FY2022 2Q時点)

新規技術の開発への  
積極投資



テスト自動化ツール



11/1 OPENβをローンチ

グループシナジー  
の強化



オフショアサービスを中心に、  
効果が出始める

新卒  
未経験者



キャリア



オンライン  
教育体制



正社員エンジニア採用数、**80名** ⇒ **134名** ⇒ **136名** ⇒ **91名**  
(19/3期) (20/3期) (21/3期) (22/3期2Q時点)  
上場前 上場後

充実した社内研修システムによる**早期の安定稼働**に  
コロナ禍でオンライン研修へ移行後も、**高スキル人材の輩出を実現**

**320時間**

**160時間**

## 成長戦略に必要な優秀な人材の確保

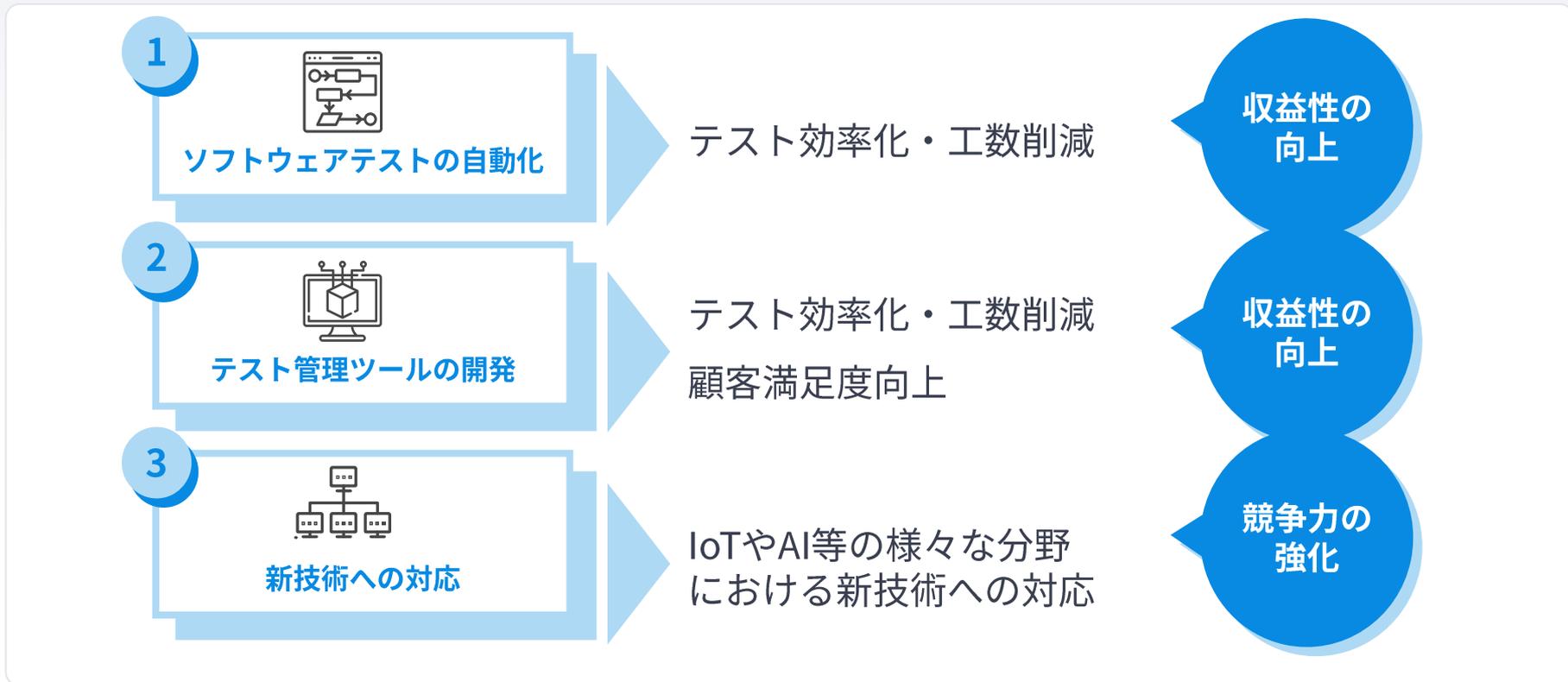
JSTQB保有率 **92%以上\***

\*入社2年目以降の正社員取得率

日本初のグローバルパートナー



# 内部留保とのバランスを意識しつつ、新技術の開発に**積極的に投資**



“だれでも”“カンタン”に”日本語”でソフトウェアテストを自動化できるツール

## 『T-DASH』 OPENβ版を 11/1に公開



### T-DASHの特長

- ①日本語のテストケースで自動化の実行が可能  
プログラミングも必要なし
- ②テスト回数に制限なし
- ③見やすく操作しやすいダッシュボード

### 期待効果

当社手動テストと比較して

最大 **50%** の工数削減効果

### 当社の狙い

- ・利益率向上
- ・有償化
- ・人材不足解消
- ・事業会社QAの知見の向上
- ・社員のエンゲージメント向上  
(よりクリエイティビティな業務へ移行)

➡ テストを  
当たり前に行う  
世の中の実現へ

## 既存サービス「セキュリティ・脆弱性診断」で顕在化したリスクへの対応にも有効的なクラウド型（SaaS型）WAFサービス



### ■特徴

Webアプリケーションの脆弱性を突いた攻撃からWebサイトを守るためのセキュリティ対策を行うクラウド型（SaaS型）システム。

一般的なセキュリティ対策システムとは異なり、データの中身をアプリケーションレベルで解析できるのが特徴で、金融系サイトやECサイトなど、幅広いWebサイトにおけるセキュリティ対策を実施可能。

### ■日程

2022年3月期に販売開始予定

脆弱性診断×WAFでセキュリティ対策を徹底サポート

「Japan Qualityを世界に」発信し、**世界のソフトウェアテスト市場**を狙う



## 新株予約権による資金調達から、当座貸越契約による借入へ変更

第3回新株予約権（2020年12月28日発行）を2021年8月31日付で取得・消却

※詳細は2021年8月16日付「第三者割当による第3回新株予約権の取得及び消却に関するお知らせ」をご覧ください



当座貸越契約に基づく資金調達枠を拡大 金融機関4行で総額**15億円**へ

※詳細は2021年8月16日付「当座貸越変更契約（借入極度額の増額）の締結に関するお知らせ」をご覧ください



2021年11月末現在、金融機関5行で総額**19億円**

### 資金使途

#### ■ 運転資金

事業拡大を見据え、新規サービス開発への投資やM&A及び資本・業務提携に関わる投資に  
手元資金を活用しつつ、機動的かつ安定的な資金調達枠を確保し、成長戦略の実現へ

#### 新規 サービス

開発

セキュリティ分野における新規サービス

投資

テストサービス分野におけるテスト自動化技術やテスト管理ツール

M&A/アライアンスを通じ、人材・技術・ノウハウの獲得はもとより、新サービスの供給、新規分野参入、スタートアップ企業との共同事業の推進を積極的に検討し、**企業価値の向上へ**

M&A 戦略	新規技術領域	バリューチェーン・プロセスを有する企業
	既存技術領域	エンジニアを多数抱えるSIer企業
		BtoB向けパッケージ製品を持つソフトウェア企業
		セキュリティ関連サービスを展開する企業



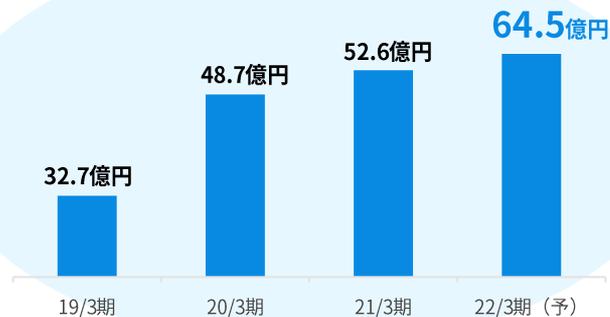
## 自己株式の取得

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	160,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.3%）
株式の取得価額の総額	200,000,000円（上限）
取得期間	2021年11月15日～2022年2月28日
取得方法	市場買い付け

当社は、成長のための事業投資に取り組むとともに、株主還元施策についても積極的に取り組んでまいります。

## 連結

### 売上高



### 営業利益



## ソフトウェアテストサービス事業

### エンジニア1人当たり売上高の推移



### 案件数



## 成長戦略の更なる強化により、**売上、利益続伸へ**

(単位：百万円)

	2021/3期		2022/3期		
	前2Q累計 実績	通期実績	当2Q累計 実績	当期予想	前期比
売上高	2,413	5,262	3,005	<b>6,451</b>	+22.5%
営業利益	136	344	47	<b>464</b>	+34.8%
売上比	5.6%	6.6%	1.6%	<b>7.2%</b>	+0.6pt
経常利益	138	347	48	<b>468</b>	+34.9%
売上比	5.7%	6.6%	1.6%	<b>7.3%</b>	+0.7pt
当期純利益	87	246	37	<b>305</b>	+23.7%
売上比	3.6%	4.7%	1.2%	<b>4.7%</b>	+0.0pt
EPS (円)※	12.60	35.65	<b>5.36</b>	<b>44.16</b>	

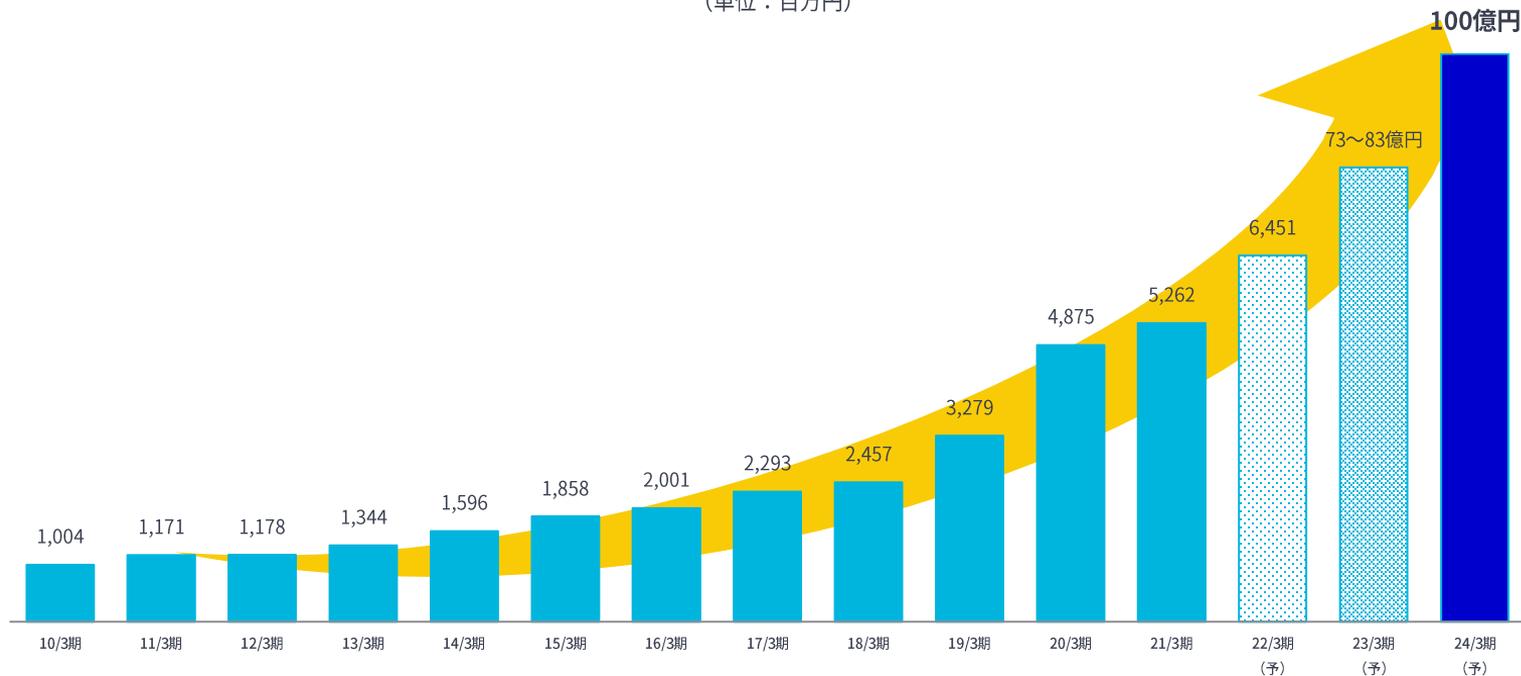
※1株当たり当期純利益（当期純利益÷期中平均株式数）

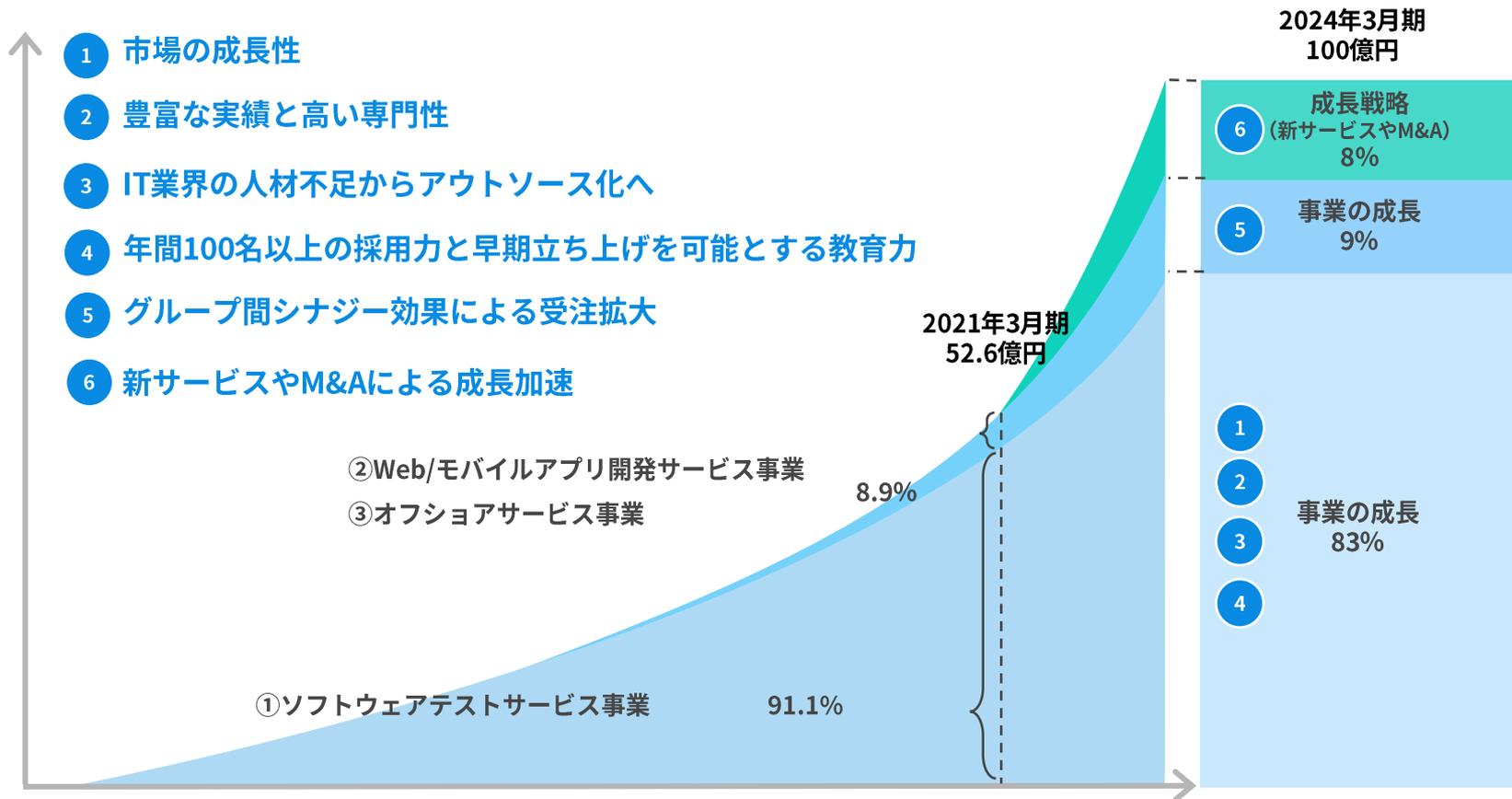
2021年5月14日に「2021年3月期決算短信（日本基準）（連結）」で公表いたしました当初予想から変更はありません。

## ソフトウェアテスト市場の成長から、2024/3期に売上高**100億円**を目指す

### 売上高の推移

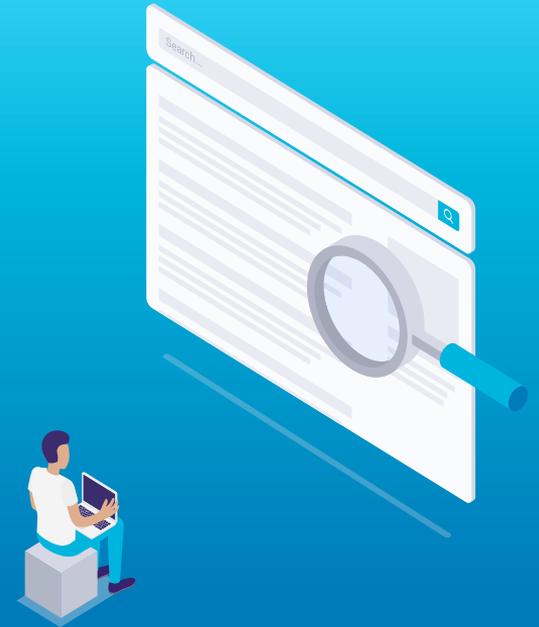
(単位：百万円)





- ① 市場の成長性
- ② 豊富な実績と高い専門性
- ③ IT業界の人材不足からアウトソース化へ
- ④ 年間100名以上の採用力と早期立ち上げを可能とする教育力
- ⑤ グループ間シナジー効果による受注拡大
- ⑥ 新サービスやM&Aによる成長加速

# リスク情報



当社グループの成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクを抜粋しています

## ソフトウェアテスト業務のアウトソーシングについて

### <主要なリスク>

当社グループは、メーカーやソフトウェアベンダーの顧客に対して、ソフトウェアテスト業務を第三者にてテストするサービスを提供しております。従来、ソフトウェアテスト業務は顧客企業内で行われておりましたが、専門性を有する人材育成や確保の限界、外部のファシリティを使うことでの費用と効果の明確化、繁忙期、閑散期の雇用継続不要によるコストダウン、開発スピード加速のために社内リソースの開発専門化などの理由から、近年においてアウトソーシングが進んでいるものと考え、今後もソフトウェアテスト業務のアウトソーシング需要が拡大するものと認識しております。

今後経済状況や顧客の経営方針の変化にて社内リソースでテストを行う内製化へ進んだ場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

### <顕在化可能性/時期>

中/中長期

### <対応策>

当社グループは、品質向上のための情報サイトや、書籍、冊子での品質の重要性や専門知識の必要性を発信し認知されるように努力しております。

## 法的規制に関するリスク

### <主要なリスク>

当社グループの事業収益には顧客企業内に当社グループの人員を常駐させる人材派遣業務によるものが含まれており、労働者派遣法や職業安定法、労働基準法等の労働関連法令等により、規制を受けております。

労働者派遣法及び関係諸法令については、労働市場をとりまく状況の変化等に応じて今後も適宜改正されることが予想され、その改正内容によっては当社グループの事業が制約され、あるいは経済的負担が増加し、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

### <顕在化可能性/時期>

低/中長期

### <対応策>

当社グループは、外部専門家と密に連携するなどし、常に最新の法的規制の動向について把握を行い、改正があった場合も臨機応変に対応できる体制を築いております。

## 海外事業展開について

### <主要なリスク>

当社グループは、ソフトウェアテストサービス及びWeb/モバイルアプリ開発サービスにおいて国内企業の海外展開のサポートと英語圏への事業範囲拡大を目的として積極的に展開する経営方針のもと、フィリピンに連結子会社VALTES Advanced Technology, Inc.を設立しております。

海外での事業活動においては、政治経済の変化における法律、規制の変更、雇用制度や労使慣行の相違、自然災害や為替変動など、予期せぬ影響を受ける可能性があります。このような場合には当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

### <顕在化可能性/時期>

中/中長期

### <対応策>

当社グループでは、海外事業のリスク管理は、現地のグループ会社が当社主管組織と連携し、状況の的確な把握と速やかな対策の協議等、管理体制の向上に取り組んでおります。

## 新規事業展開について

### <主要なリスク>

当社グループは、「品質向上のトータルサポート企業」を目指しており、ソフトウェアテスト以外の領域においても積極的な事業展開を行い、新しい価値を創造する企業としてのブランドを醸成していくことが重要な課題であると認識しております。現在、子会社のバルテス・モバイルテクノロジー株式会社及び株式会社アール・エス・アールにおいてはWeb/モバイルアプリ開発サービス事業を、また、子会社VALTES Advanced Tecnology, Inc.においてはソフトウェアのオフショアサービス事業をそれぞれ新規事業として展開しております。

今後も経営理念に従い新規事業の展開に取り組んで参りますが、設備投資や人件費等の追加的な支出が発生し、利益率が低下する可能性があります。また、新規事業は不確定要素が多く、事業計画通り達成できなかった場合は、それまでの投資が回収できず、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

### <顕在化可能性/時期>

中/中長期

### <対応策>

収益の柱としてのソフトウェアテストサービス事業を拡大させる一方で、既存事業との関連性、収益性、社会性、従業員の士気向上への影響等を考慮した上で、一定の割合を定めて新規事業に積極的に投資しております。

## 価格競争について

### <主要なリスク>

当社グループは、ソフトウェアテスト業界において、これまで蓄積したノウハウを用いて各種テストを行うことによりソフトウェアの品質向上、開発プロセスの改善へ努め他社との差別化へ取り組んでおります。しかしながら、金銭などの決済を行う機能や個人情報管理などの機能を持たない、比較的シンプルなモバイルアプリケーションのソフトウェアテストにおいては、低価格提示を優位とする競合他社が発注先に選定されることがあります。

顧客が発注先選定をする際の判断基準がコストである場合は、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

### <顕在化可能性/時期>

中/中長期

### <対応策>

当社グループは、品質の重要性を説明するとともに、高い品質サービスで他社との差別化を図って参ります。

## 人材の確保のリスク

### <主要なリスク>

当社グループでは、作業実務の多くを当社グループの専門性を有したスタッフによって行っており、相応規模の作業人員確保を継続して実施していく必要があります。中長期的にIT人材の不足がさらに増した場合、競合他社との人材獲得競争も激化し、当社グループの人材が外部に流出することや、人材確保に支障をきたすことも想定されます。このような事態が生じた場合、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

### <顕在化可能性/時期>

中/中長期

### <対応策>

事業拡大に伴って必要となる優秀な人材の確保とその育成については、外部活用の採用活動に留まらず、当社ポータルサイトや、提供アプリケーションでの求人広告等の実施、人事担当の増員によるアプローチ強化などを行い、採用活動に努めており、またグループ内における人材育成に注力しております。

※その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください

## ご留意事項

本資料の進捗状況を含む最新の内容につきましては、通期決算発表で開示することを予定しております。また、経営指標の進捗状況については、四半期決算発表における決算説明資料において開示することを予定しております。

本資料における市場予測や業績見通し等の内容につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来における実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。



